

(様式6)

平成29年度学校関係者評価報告書

学 校 名 湯梨浜町立泊小学校

校 長 名 倉長 孝男 印

評価日 平成30年2月27日	
評価・提言	学校の所見・改善策等
<p>〈 評 価 〉</p> <p>○「わかる授業の創造と確かな学力の育成」の自己評価Bと、「潮風の中でたくましく生きる心と体の育成」Bについては、妥当な自己評価だと思われる。しかし、「ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり」については、やや厳しい自己評価となっていると思われる。総合的な学習の時間や土曜授業等を活用し、地域の自然環境や地域の人材を活用した取り組みが積極的に行われていると感じている。学校だよりも定期的に発行され、ホームページも日々積極的に更新されており、開かれた学校づくりに向けて熱心に取り組まれており、評価委員としてはA評価が適切だと判断した。</p> <p>〈 提 言 〉</p> <p>○算数科を中心に授業研究を行い、授業改善に取り組んだ結果、算数の力がついてきたように思われる。来年度は国語の研究に取り組むが、算数の指導も継続してほしい。国語力をつけるためには、図書館の活用をより積極的に行い、読書指導に力を入れてほしい。</p> <p>○業間運動の時間を活用し、児童の体力の向上をめざした取り組みが全校態勢で行われており、大変有意義だと思う。児童の言葉づかいもよくなってきているが、家庭と協力して今後も継続した指導をお願いしたい。</p> <p>○地域の人達と共に取り組むふるさと教育には、今後も継続して取り組んでほしい。大いに期待している。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・3年間、算数科を中心に授業研究に取り組んできたが、ある程度の成果を上げることができたように思われる。来年度は国語科の授業研究に取り組むが、充実した授業研究会を積み重ね、教職員一人ひとりの授業力の向上をめざしていきたい。学力検査結果については、学年によってやや差があるものの、全体的に成果が表れていると感じる。本校は国語の力がやや不足している傾向にあったので、図書館の活用を進めるとともに、読むことや書くことの基礎的な学習内容の定着を図る取り組みを行ってきたい。</li><li>・言葉づかいについては全校態勢でねばり強く取り組み、改善されてきていると感じる。今年度は人間関係のトラブルも少なく、学校全体が落ち着き、学習に集中して取り組める環境づくりができています。</li><li>・長休憩の時間に行っている業間運動のマラソンと「のびっこ体操」は、全校児童が目的意識を持ちながら、意欲的に取り組めるようになってきている。来年度も体力づくりの向上をめざして継続して取り組みたい。</li><li>・地域の自然環境や地域の人材を積極的に活用し、ふるさとを誇りに思う児童の育成に継続して取り組みたい。</li><li>・開かれた学校をめざし、学校だよりや学級だより、ホームページ等で情報発信を積極的に行い、泊小学校の教育活動を紹介していきたい。</li></ul>